

熊野古道ってなあに？

熊野古道ってなあに？

なるほど！東紀州

シリーズ①

くま

の

こ

ごう



三重県

世界の宝もの！ 熊野古道

わたしたちが住んでいるこの地球には、素晴らしい自然や建物がいっぱいあります。その中で特にすばらしく、未来の人のために残し伝えていかなければならない「世界の宝もの」のことを、「世界遺産」と言います。

2010年（平成22年）現在、「世界遺産」は世界中で911件あります。エジプトのピラミッドやアメリカのグランドキャニオン、フランスのベルサイユ宮殿などがそうです。

では、わたしたちのまわりはどうでしょうか？日本には14の世界遺産があります。その12番目の世界遺産が、わたしたちの住んでいるところにある「熊野古道」です。正しい名前は「紀伊山地の霊場と参詣道」と言っていて、2004年（平成16年）7月7日に世界遺産になりました。



ピラミッド



グランドキャニオン

ピラミッドや
グランドキャニオンも
「世界遺産」なんだよ。



世界遺産って
いろいろあるんだね。



コラム

世界で2例！ 道の世界遺産



わたしたちの世界遺産「熊野古道」は、たくさんの人がお参りや修行した場所、それを結ぶ道、まわりの景色が「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産になったものです。

このように道が世界遺産になっているのは世界で2例しかないたいへんめずらしいものです。もうひとつは、フランスからスペインにつながる「サンティアゴ・デ・コンポステーラへの道」です。



サンティアゴ・デ・コンポステーラへの道



たくさんの人が
お参りするために
歩いた道なんだよ。

今から千年も前からたくさんの人々がこの「熊野古道」を歩いて、三重県や和歌山県や奈良県にある大きな神社やお寺にお参りしたり、険しい山で修行したりしました。そこには、自然のすばらしさを神さまや仏さまと思う日本人の気持ちがありました。それが今も伝わっています。

わたしたちは、世界遺産「熊野古道」のあるすばらしいところに住んでいます。これからも「熊野古道」をいつまでも大切にしましょう。

馬越峠

何のために 作られたの？



世界遺産「熊野古道」は、熊野三山（熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社）と言われる大きなお社にお参りするための大切な道（参詣道）です。今では道路や鉄道があり近くまで車や列車で行けますが、昔の人はたいへんな苦勞をしながら歩きました。

また、「熊野古道」は生活の道でもありました。「熊野古道」は、この地方の海岸沿いの町と町を結ぶ道で、国道 42 号線などのりっぱな道ができるまではそこに生きる人々の大切な生活の道でもあったのです。

2004 年（平成 16 年）9 月に紀北町をおそった集中豪雨（大雨）では国道 42 号線が通れなくなりましたが、尾鷲の人は馬越峠をこえておうえんに行きました。



道路が通れなく
なると大変だ！



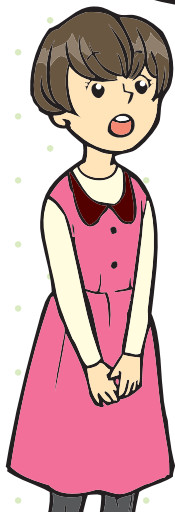
わたしたちの町を通っている「熊野古道」は、たくさんある道の中でも「熊野古道伊勢路」と呼ばれています。昔の人々はお伊勢参りをすませたあと、熊野三山に向かいました。その道が「熊野古道伊勢路」です。

「熊野古道伊勢路」には、馬越峠やツヅラト峠、松本峠などたくさんの峠があります。昔の人は、たいへん険しい山道や峠を歩くだけでなく、時には七里御浜の海岸を歩いたり、熊野川を船に乗ったりしながら熊野三山に参ったのです。



七里御浜

海岸や川も熊野古道のひとつなんだね。



熊野川

今は道路があるけど昔の人は大変だったんだなあ。



コラム

ありくまのもうで 蟻の熊野詣 って何？



その昔、熊野三山
(熊野本宮大社・

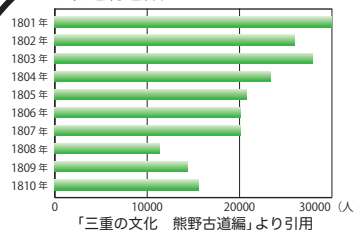
熊野速玉大社・熊野那智大社)をめぐし、「熊野古道伊勢路」を全国からたくさんの人々が歩きました。江戸時代には1年で約3万人も訪れたという記録もあります。

「熊野古道」を通して熊野三山にお参りすることは、昔の人々のあこがれだったのです。

そのよう
は、蟻さんの
行列に似てい
るので「蟻の
熊野詣」と呼
ばれています。



巡礼通行者数 (1801年～1810年調査)



どの年も1万人をこえてるのよ。



くまのさんざん どうして熊野三山を めざしたの？

むかしひとびと、しぜんなかのおおやまかわき、たきいわかみほとけ
昔の人々は、自然の中の大きな山や川、木や滝や岩に神さまや仏さまがいて
と信じていました。くまのさんざんよ、くまのほんぐうたいしゃ、くまのはやたまたいしゃ・
くまのなちたいしゃにほんくにふるしだい
熊野三山と呼ばれる熊野本宮大社・熊野速玉大社・
熊野那智大社には、日本の国ができたたいへん古い時代から、そうした神さま
や仏さまがいてと信じられてきたのです。

とうじ
当時の人々には苦しみや悩みごとが多く、神さまや仏さまに手をあわせてながい
きを祈りました。また、「死んだあと天国に行けますように。」「また生まれ変わ
れますように。」などと祈りながら参ったのです。



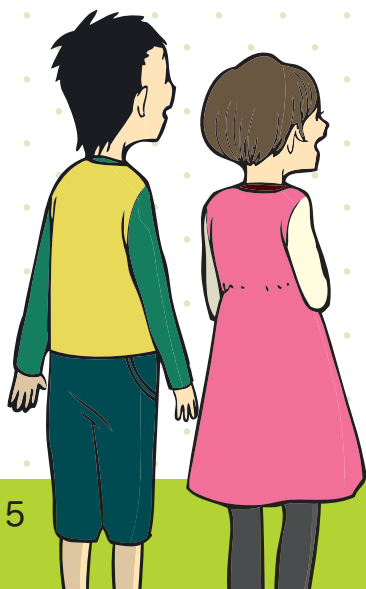
熊野本宮大社



熊野速玉大社



熊野那智大社



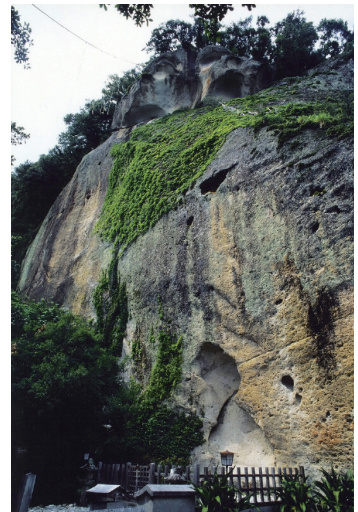
コラム

神さまが たくさんいるの？



熊野市にある「花の窟神社」には神
殿はなく、高さ約 45m の大
きな岩そのものが神さまとし
てまつられています。この神
社は、日本で一番古い神社と
言われており、今でも多くの
人々がお参りしています。

このように、険しい山と大
きな海が広がる熊野は、神さ
まや仏さまが住んでいるすば
らしい場所だと考えられてい
ました。



花の窟神社



この大きな岩が
そのまま神さま
なんだ。



熊野の神さま・仏さ
まはみんなを平等に
見てたのよ。

だから、たくさん
のお参りした
人々が訪れた
のかもしれないね。



熊野の神さまや仏さまは、目の見えない人、手足
の不自由な人、貧しい人をやさしく見守り、「人を
差別せず・人を信用しなさい。」と教えてくれました。
昔は女の人を入れてもらえない神社や滝もありまし
たが、熊野ではだれでも参ることができました。

それで全国各地から、多くの人々が「熊野古道」
を通して熊野三山へ参ったのです。

参詣道は 他にもあるの？

熊野三山（熊野本宮大社・熊野速玉大社・熊野那智大社）に行く道は、わたしたちの住む町を通る「熊野古道伊勢路」の他にもたくさんあります。

和歌山県・奈良県には「中辺路」「大辺路」「小辺路」があり、どの道も世界の宝ものである世界遺産「熊野古道」です。これらの道は、おもに大阪や京都の人たちが通りました。

熊野古道があるのは三重県だけじゃないんだね。

和歌山県にも奈良県にも熊野三山にお参りする道があるんだね。





また、新宮市（和歌山県）へ流れる熊野川は、熊野三山のひとつの熊野本宮大社への行き来（きりよう）に利用された川で、「川の参詣道」ということができます。これも「熊野古道」のひとつです。また、熊野市（きほうちよう）から紀宝町（やく）にかけて約 22km の七里御浜（キロメートル しちり み はま）と呼ばれる砂利浜（じゃり はま）が続いています。熊野三山（たぎびと）をめざす旅人（ある）は、この七里御浜（はまかいどう）も歩きました。「浜街道」と呼ばれています。

熊野川の参詣道や浜街道は、峠とうげごえとはちがった危険きけんもあり、命いのちを落おとした人々ひとびともいました。

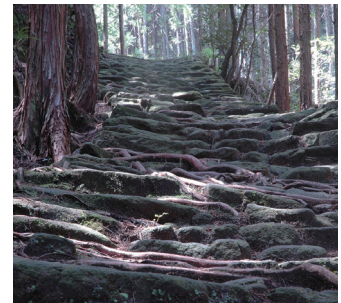
コラム

いしだたみ おお
石畳が多いのは
なん
何でだろう？

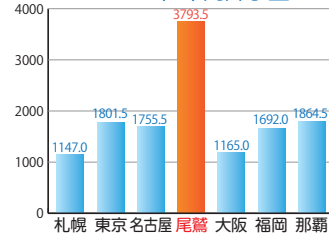


「熊野古道伊勢路」
を歩いてみると、きれいにしきつめられた石畳道が多いことに気がつきます。特に、急な坂ではよく見かけます。

わたしたちの住むこの地方
は、日本^にで一番^{いっばん}雨が多いところ^{あめ}です。昔^{むかし}の人々は大^{やまみち}雨でも山道^{やまみち}がこわされないよう、また、歩^つく人が疲^{つか}れないように石をしきつめ石畳道^{いさま}を作りました。今のほ^いそう道^{どう}路^ろのよう
なものです。



mm/年 2009年 年間降水量



気象庁ホームページより引用

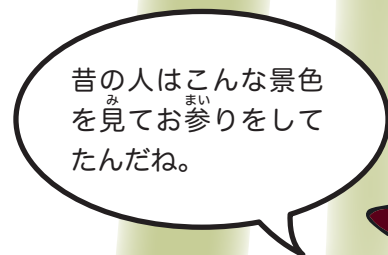


たくさん雨が降って
だいじょうぶ
も大丈夫なように
つく
作られているんだよ。

伊勢路を 歩いてみよう！

「熊野古道伊勢路」は海沿いのすばらしい道です。どこを歩いても景色がよく、人の心をなぐさめてくれます。荒々しい大きな岩や神社の森の大きな木が、何百年も生きています。植物や動物の種類がたいへん多くて、自然がすばらしい道です。

みなさんも世界の宝ものである世界遺産「熊野古道」をぜひ歩いてみてください。きっと昔の人が築いてきた文化や自然の音を感じとれることでしょう。



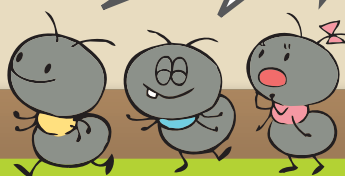


ここは自然がいっぱい。ほら、きれいな花が咲いてるよ。



わたしたちの町にある世界の宝もの「熊野古道」。昔
の人々や地域の人々が大切に守ってきたわたしたちの
宝ものです。この「熊野古道」をいつまでも大切に伝
えていくために、次のことは必ず守りましょう。

- ✓ 道であった人には笑顔であいさつをしましょう。
- ✓ ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- ✓ 植物・動物などの採集はやめましょう。
- ✓ 道からはずれないようにしましょう。
- ✓ 火遊びは絶対しないようにしましょう。



みんなの力で
世界遺産「熊野古道」を
守っていきましょう！

監修 三重県立熊野古道センター

発行 三重県政策部東紀州対策局
東紀州対策室

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

TEL 059-224-2193 FAX 059-224-2418

本書掲載の文章、写真およびイラスト、図等の無断転載、
無断引用、二次配布についてはこれを固く禁じます。

